

環境都市工学科公開講座「e+iMec 講習会【基礎編(橋梁点検)】」 を開催いたしました

2月21日(土)～22日(日)に、環境都市工学科公開講座「e+iMec 講習会【基礎編(橋梁点検)】」を開催しました。受講者は、社会インフラのメンテナンスやそのマネジメントを担当されている社会人が対象であり、建設系リカレント教育プログラムの一環として実施しました。

講習会は橋梁工学に関する知識及び道路構造物の損傷に関する知識を修得すること、および一般的な橋梁形式の道路橋(コンクリート橋と鋼橋)について、道路橋定期点検要領(R6.3国土交通省道路局)に基づく点検を確実に実施するために必要な知識及び技能を修得することを目的に開催されたものです。

今年度は初回の試行講座として開催し、民間企業および行政の計10名の社会人の方々が受講されました。2日目には、実際の橋梁(コンクリート橋と鋼橋)にて、点検やメンテナンスの実践的技術を学ぶ実習を行いました。

受講生からは「実物のコンクリート橋、鋼橋を見ながら点検のイメージがわきやすく、非常にわかりやすい講習だった」、「実施の点検における情報や経験に基づく話などを多く得ることができて大変満足した」との評価をいただきました。



座学の様子



グループワーク



現地での点検の実習



講師・受講者との記念撮影